

(家庭数配布)



5年生の脱穀（米作り）と校外学習から

5年生が進めている米作りの学習、先日の稲刈りに続いて脱穀を行いました。

※「脱穀」…根元から刈り取った稲の穂先から、粃(もみ)を分離する作業



割りばしを使います



おしゃべりをしながら楽しく

脱穀が終われば、その次は粃摺りです。これも子どもたちが作業をする予定です。

5年生にかかわっては、先日、国立民族学博物館への校外学習にも同行しました。博物館の見学、また芝生広場での自由時間と、ともに楽しく時間を有意義な時間を過ごしました。その中で、帰りの電車の中でこんなことがありました。私がある子に次のよう

に話しかけたのです。「毎日、テレビのニュースで世界各地の紛争を報道しているけど、どう思う？」すると、こんな答えが返ってきました。「国連が機能していない。」と。なかなか的確な指摘です。この声を各国の指導者や、世界の中枢を担う大人たちに届けたいと思いました。

5年生とは校外学習の1日とともに過ごしましたが、私の率直な感想は「平和だな〜。」でした。並んで歩いている様子、電車の中での過ごし方や博物館で粛々と見学を進めている雰囲気、仲間と一緒に和やかにお弁当を食べているところなど、子どもたちは終始穏やかな表情でした。それは、まずは各ご家庭で大事に育てられていること、加えて、これは手前味噌になりますが、各担任が日頃から子どもたちの思いをしっかりと受け止め、その上で丁寧な指導を行っていることもあるかと思います。

学校に戻り解散する前に、「校長先生から何かありますか？」と振られましたので、私からは次のように話をしました。「今、世界各地で紛争が起こっていることを知っていますね。そんな地域にも、皆さんと同じような歳の子どもたちがいて、残念ながら犠牲になっている子どもたちもたくさんいる。そんな環境では、たとえ勉強をしたくても、それどころではないはず。ところが皆さんはどうですか？今の日本は平和ですから、その気さえあれば、いくらでも勉強できるはず。恵まれているのです。その恵まれた環境を活かして、明日からもしっかりと頑張りましょう。」と。

今のところ日本国内は平和ですが、海外に目を向けると、再びの世界大戦の火種がないとも言えません。子どもたちには、今の自分がやるべきことにしっかり取り組み、さらに世界の平和を目指してくれることを望みます。国連の存在意義を明確に分かっている子もいることですから、私は安心して見守っていきたいと思います。

◇校長のつぶやきコーナー

以前、自己肯定感を持つために「目の前の困難を自力で乗り越えた経験が活きてくる。」を述べました。それに加え、また新たなことに気づきました。それは「困っている人や悩んでいる人を助ける。」です。例えば…、「山奥で大ケガをして動けなくなっている人を発見、救助隊に連絡、その人が一命を取り留めた。」などです。こんな経験をすれば、「自分がいて良かった。」と感ずることが出来ますよね。自らを大切にすることは当然ですが、その上で他人に対して、どのような振る舞いをするか。「他人に対して何らかの手を施してあげることは、結局は自分のためにもなる。」です。こんな生き方ができれば、本当に素晴らしいですね。